

2019年度

事業報告

特定非営利活動法人 就労ネット うじ

みっくすはあつ

(就労継続支援B型)

かんしゃ工房(就労継続支援B型)

全体 【エコボール(硬式野球ボールの修繕活動)】

実績:修繕個数 1,855 球

安定したペースで毎月取り組めた。エコボール事業に取り組む事業所が一度に集まる全国集会に利用者 2 名、職員 6 名で参加し、他事業所の取り組みなどの情報共有や意見交換が出来た。今後の取り組みの参考になり、利用者にも刺激となり意識向上につながった。つながりのある高校などの団体チームとの交流を大切に活動でき、仕事に対する責任感・充実感も感じられた。

【自主製品(Hito*Miku)】

障害者スポーツ大会の景品として「くみひもブレスレット」70 個納品。

啓発活動で「マグネット」40 個納品。

法人の 10 周年記念イベントで「つながり鉛筆(組みひもを使ったオリジナル鉛筆)」の作業体験をして頂いた。できあがった「つながり鉛筆」を持ち帰ってもらい、より多くの方に製品を知ってもらう事ができた。

啓発物品の景品などとしても取り組む事で、利用者の仕事意識の向上やモチベーションアップにも結び付いた。

【宇治市内の公園清掃及びパトロール】

全 69 か所。誰もが取り組みやすい仕事(トイレ掃除やごみ拾い等)の一つとして定着。

【新たな取り組み(地域の町内公園清掃・畑作業・個人宅の草取り・着物ほどもき・SDGs)】

・地域の町内公園清掃(草取り等) 5月～開始。全5回取り組み。

町内の方と一緒に清掃を行う事ができ、私たちを知っていただく機会にもなった。有意義な交流が図れた。

・畑作業

小倉地域の方のご厚意により、一緒に畑作業に取り組む機会を頂いた。畑作業を通して、利用者の新たな一面や特性の発見にもつながった。

・個人宅の草取り

全2件。利用者4名、職員2名で、地域の個人様からの依頼で、庭の草取り作業に取り組んだ。とても感謝されて、やりがいを実感することができた。

・受注作業「着物ほどもき」

納品枚数 11枚

リッパーを使用し糸をほどもき作業。生地を傷つけないように行う等、細かい作業を利用者 10 名ほどで取り組んだ。利用者の得意分野を活かした細かい作業の提供に自信が持てた。

・受注作業「SDGs(持続可能な開発目標)バッジ」やすりがけ・梱包

2020 年 2 月開始。初回やすりがけ 500 個、梱包 20 個納品。今後の作業受注に繋げることができた。

利用者	基本通所時間	10時～16時
	利用者	25～27名

利用者の入れ替わりがあり、活性化のみられる年度となった。

利用者同士でペアを組み、仕事に取り組むことでお互いを理解し、認め合い、受け止め合える職場作りをすることで、仲間意識・グループ意識・連帯感の向上につながった。

また、意見を出し合う刺激し合える環境も提供出来た。

仕事の中に、楽しむ要素を加えることで、文化や社会を理解しやすくなった。

ボランティアや実習生、体験者と一緒に取り組む機会が刺激になり、意欲の向上にもつながった。

うじ・はんどめいどショップ(就労継続支援B型)

全体

今年度は、限られたスペースを有効活用できるように在庫整理に取り組んだ。魅力ある手作り商品を探して見つけることができる「楽しいお店」を意識した陳列を展開した。お客様の目線に合わせたレイアウトを、通路の確保も意識しつつ利用者と一緒に考えて取り組んだ。

全体の売上合計としては、減少した一年であった。要因として、あがた祭りでの販売では、販売時間の短縮による売上減少が影響した。

また、世界情勢による観光客の減少もそのまま売上減少につながった。地元のお客様(リピーター)の獲得・定着も弱かったと感じられる。

また10月からの消費税の増税のタイミングで、今までの販売手数料を改めて見直し、販売価格の再設定を行った。【従来の商品の預かり価格×消費税×手数料(10%)】

全体的な商品の値上がりと、経済活動の低下による買い控えが重なり下半期の売り上げ獲得に苦戦した。

2月頃から流行した「新型コロナウイルス」の影響により3月の出店販売が全て中止となった。しかし、マスクの需要が高まったこと又、新聞(別紙)で紹介されたことが幸いし、地域の方の手作り布マスクが飛ぶように売れた。

課題としてチラシ配りは店頭での活動がほとんどで、広範囲でのチラシ配りが不足していた。

新しい商品販売として、SDGs(持続可能な開発目標)バッジを取り入れた。

・木製バッジ(880円税込み)・金バッジ(1,050円税込み)それぞれ9個、13個を購入して頂き、SDGsバッジ合計売上は21,570円の実績だった。

《年間売上集計表等 別紙資料参照》

売上平均

はんどめいど商品(仕入れ商品)の売上実績は54,775円/月平均、つながり商品(地域の方の手作り商品)の売上実績は47,818円/月平均であった。それぞれの目標(月平均)120,000円、80,000円に対しては未達成に終わった。

売上目標に向かって、利用者・職員全員の意識を高め継続して取り組むことの難しさを再認識した。今後、具体的な対応策を検討して実施する必要性を確認する。

自主製品の販売にも積極的に取り組み、少しずつではあるが実績向上できた。自主製品の売上実績は2,958円/月平均を確保した。

利用者 基本通所時間 10時～16時
利用者 1～4名

今年度は、一人ひとりの「働きたい」という想いに耳を傾けながら、多様性のある働き方を日々の中で実践し、コミュニケーションを通して働きやすい環境作りに意識して取り組んだ。また、支援学校からの体験実習生や社会福祉士養成学生等のソーシャルワーク実習生の受け入れは良い刺激となった。一緒に取り組む機会により、お互いを認め合い、助け合うことでともに働くことを実践できた。

2019年度 集計表

4月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	68,390	58,134	10,256	10,256
つながり	46,880	37,504	9,376	9,376
はんどめいど	88,228			88,228
自主製品	1,100			1,100
外売り販売	136,660			136,660
月会費・雑収入	0			0
合計	341,258			245,620

5月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	46,165	39,243	6,922	6,922
つながり	54,770	43,816	10,954	10,954
はんどめいど	68,088			68,088
自主製品	3,100			3,100
外売り販売	118,050			118,050
月会費・雑収入	850			850
合計	291,023	83,059	17,876	207,964

6月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	68,165	57,943	10,222	10,222
つながり	45,390	36,312	9,078	9,078
はんどめいど	73,862			73,862
自主製品	1,500			1,500
外売り販売	171,250			171,250
月会費・雑収入	390			390
合計	360,557	94,255	19,300	266,302

7月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	62,085	52,775	9,310	9,310
つながり	43,150	34,520	8,630	8,630
はんどめいど	78,207			78,207
自主製品	5,600			5,600
外売り販売	12,800			12,800
月会費・雑収入	50			50
合計	201,892	87,295	17,940	114,597

8月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	57,470	48,853	8,617	8,617
つながり	27,270	21,816	5,454	5,454
はんどめいど	57,980			57,980
自主製品	1,800			1,800
外売り販売	98,850			98,850
月会費・雑収入	0			0
合計	243,370	70,669	14,071	172,701

9月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	57,840	49,167	8,673	8,673
つながり	57,180	45,744	11,436	11,436
はんどめいど	43,902			43,902
自主製品	1,200			1,200
外売り販売	5,500			5,500
月会費・雑収入	500			500
合計	166,122	94,911	20,109	71,211

10月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	54,821	46,601	8,220	8,220
つながり	40,840	32,672	8,168	8,168
はんどめいど	51,047			51,047
自主製品	500			500
外売り販売	128,000			128,000
税等・雑収入	13,694			13,694
合計	288,902	79,273	16,388	209,629

11月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	113,264	96,352	16,912	16,912
つながり	38,000	30,400	7,600	7,600
はんどめいど	81,790			81,790
自主製品	6,100			6,100
外売り販売	174,040			174,040
税等・雑収入	29,476			29,476
合計	442,670	126,752	24,512	315,918

12月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	76,018	64,642	11,376	11,376
つながり	21,000	16,800	4,200	4,200
はんどめいど	35,899			35,899
自主製品	9,900			9,900
外売り販売	30,000			30,000
税等・雑収入	16,532			16,532
合計	189,349	81,442	15,576	107,907

1月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	32,500	27,653	4,847	4,847
つながり	25,550	20,440	5,110	5,110
はんどめいど	20,040			20,040
自主製品	1,100			1,100
外売り販売	0			0
税等・雑収入	7,720			7,720
合計	86,910	48,093	9,957	38,817

2月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	30,196	25,698	4,498	4,498
つながり	23,050	18,440	4,610	4,610
はんどめいど	33,175			33,175
自主製品	1,500			1,500
外売り販売	740			740
税等・雑収入	9,229			9,229
合計	97,890	44,138	9,108	53,752

3月	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	36,205	30,790	5,415	5,415
つながり	150,730	120,584	30,146	30,146
はんどめいど	25,085			25,085
自主製品	2,100			2,100
外売り販売	0			0
税等・雑収入	23,039			23,039
合計	237,159	151,374	35,561	85,785

2019年度	売上金額	委託先支払額	委託販売手数料	利益
福祉関係団体	703,119	597,851	105,268	105,268
つながり	573,810	459,048	114,762	114,762
はんどめいど	657,303			657,303
自主製品	35,500			35,500
外売り販売	875,890			875,890
月会費・雑収入・税等	101,480			101,480
合計	2,947,102	1,056,899	220,030	1,890,203

売り上げ比較表2018年度・2019年度

2018年度	売上金額合計	2019年度	売上金額合計	売上増減
4月	311,386	4月	341,258	29,872
5月	322,579	5月	291,023	-31,556
6月	393,895	6月	360,557	-33,338
7月	196,886	7月	201,892	5,006
8月	254,756	8月	243,370	-11,386
9月	264,716	9月	166,122	-98,594
10月	371,038	10月	288,902	-82,136
11月	558,758	11月	442,670	-116,088
12月	253,838	12月	189,349	-64,489
1月	129,138	1月	86,910	-42,228
2月	102,428	2月	97,890	-4,538
3月	216,787	3月	237,159	20,372
合計	3,376,205	合計	2,947,102	-429,103

施設外就労 ホームケルン(就労継続支援B型)

全体 2016 年度より、京田辺市にあるホームケルン株式会社の企業資源廃棄物の処理における、仕分け分別ラインをみつくすはあつ専用として取り組みを開始した事業。

新たな燃料RPF(石炭やコークスの代替品)を作る為に必要な資源物(紙、プラスチック、鉄等)を分別・仕分けする作業に従事した。

作業指導はみつくすはあつ職員が行い、現地まで送迎及び、作業を一緒に取り組んだ。

作業で得た収益は、利用者の工賃に還元している。
(今年度 作業収入 476 万円)

一般企業の環境と作業の提供によって利用者の仕事の幅が拡充し、安定した作業収益の獲得にもつながった。

また、利用者の異動にともない、チームとして取り組むなかで起こり得る利用者間の人間関係の変化や活性化もみられた。

利用者	基本通所時間	8 時 00 分～16 時 45 分(移動時間を含む)
	稼働時間	9 時 00 分～16 時 00 分(ホームケルン内作業)
	稼働日	平日(土・日・祝を除く)
	利用者	3～6 名
	職員	1～2 名

日々の作業は、常勤 2 人・パート 1 人の支援体制で利用者総数 8 名が従事した。

就労継続支援 B 型「施設外就労」での取り組み。

安全な作業環境を確保する為に利用者同士で声の掛け合いを徹底し、利用者の状況の変化などによる人員の変化がありながらチームとして協力し、それぞれ役割を持ち、作業に取り組むことが出来た。

さらに、チームとして取り組む利用者間の人間関係の変化についても、その都度ミーティングを行い、対応することができた。

また、一般企業内での規律やマナーの理解、向上にも役立っている。

利用者以外にも、社会福祉士養成学生等のソーシャルワーク実習(体験機会の場として)にも有効活用できた。

施設外支援 ローソン実習(就労継続支援B型)

全体 2019年2月より開始した、宇治市小倉町にあるローソン宇治小倉堀池店での利用者企業実習(施設外支援)である。

主に、ローソン店内外の清掃(駐車場のごみ拾いや店内・トイレ清掃)、リーチイン(ドリンクコーナーの裏側からの品出し補充)、FF調理(レジ横にあるスナックのレンジ調理や揚げ調理)、店内品出し・前陳(商品の陳列を整える)、レジでの接客対応等様々な業務に取り組む機会がある。現地までは、利用者自力での通勤。

業務指導は主にローソンのオーナー・店長が行い、実習後にその日の実習報告書(1日の振り返り・次回の実習目標・今後してみたいこと・不安なこと)を利用者が記入し、それをもとにみっくすはあつ職員とともに実習振り返り(実習評価)を定期的に行った。

みっくすはあつ職員が定期的の実習先に訪問することで利用者の様子を観察、オーナーや店長との情報交換を行った。

一般企業の環境や業務、地域にあるコンビニエンスストアという生活に身近な企業での実習で、利用者の社会習熟度や社会性の向上にもつながり、様々な業務を実習時間内に取り組むことによって柔軟な適応力習得にもつながった。

また、利用者単独での一般企業実習のため利用者のメンタルヘルスにも意識を向けながら、思いの聞き取りや指導を行った。

利用者 基本実習時間 日中4時間程度
実習日 その都度オーナーと利用者を交えて打ち合わせを行う予定。
利用者 1名
職員体制(定期訪問・実習振り返り等) 1~3名

日々の実習は、主にオーナーの勤務時間に合わせて予定し、オーナーとともに利用者の状態に合わせた実習内容。

オーナーや店長の障害に対する理解も深く、利用者とのコミュニケーションの大切さを考慮していただいていたこともあり、徐々に冗談や相談を話し合える信頼関係になっていった。

啓発 等

全体 就労ネットうじの法人10周年を迎えた今年度、10周年記念事業に取り組み、12月15日にイベント（ともにある～私たちから発信～5cmの“わ”）を開催した。それに向けた会議で職員や利用者の思いを出し合い、議論を重ねる中で啓発の視点に重点を置いたものになった。10周年の感謝を伝え、また発信したい思い、共有したい思いを形にするイベントとなり、当日は123名の方々にお越しただけたことは大変嬉しく喜ばしいことであった。また、次世代（特に子ども達）に向けた絵本作製に取り組んだ。その中で見えてきた課題もあるが、今後繋がるものとして捉えていきたい。

日々の取り組みでは機関誌や便りの発行、ホームページやブログなどでの情報発信や、実習生の受け入れなど行なうことができた。エコボール活動ではボールの受取りや納品時の野球部員たちとの交流、2月に行われた三重県での第4回全国集会の参加を通して対外的なつながりも強くなってきている。

地域の中学校、高校、イベントへの講師派遣依頼などは引き続きあり、発表・講演を実施。社会福祉士等の資格実習の学生受け入れについては年度内で6名の学生に選んでいただくことができた。1ヶ月単位での長期間の実習に取り組んだ実習生には非常に深くかかわる機会があり、自分自身・それぞれの家族・友人・学校・地域へと持ち帰り啓発活動につながったと振り返る。今年度も実習委員会を組織し、実習日誌のコメント記入に現場の職員が関わるなど実習受け入れに関しての共有にも力を入れた。

ボランティア体験や福祉体験などの取り組みも継続して実施した。障害のある人と関わることが初めての方達もおられたが、体験を通して障害のある人に対する親しみを感じてもらえたこと、またボランティアに継続して来ていただいていることは嬉しい出来事である。署名活動はこれまでに引き続き12月ごろからの活動を中心に取り組んでいる。2019年10月25日・26日に愛知県で開催されたきょうされん全国大会に参加し、思いを発信、共有する大きな機会となった。

また、同団体の洛南地域での取り組みとして、毎月11日前後に震災支援募金・製品販売活動に継続参加してきた。

利用者 地域の中学校・高校・イベントへの講演等に今年度は3名の利用者が実際に参加された。内容面でも、地域福祉について多様で深みのあるテーマ、特に若い世代への発信に力を入れた。

また、きょうされんの利用者部会では昨年度に引き続き洛南ブロックの代表として利用者1名が継続して部会長として参加した。

地域の事業所と一緒に大きな要望をする国会請願署名にも積極的に参加し、『宇治市の小倉にある事業所からお願い。』と声を発する行動を行なった。

実習生の受け入れも長期間一緒に過ごせば過ごすほどかけがえのない時間となり、利用者・実習生・職員、それぞれお互いに学び合って成長する良い機会になっている。